

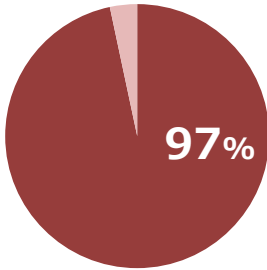
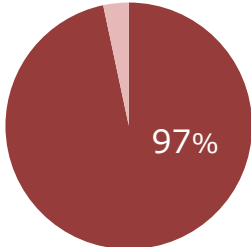
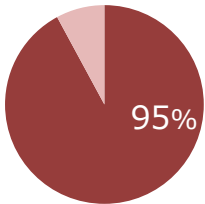
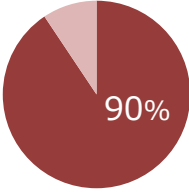
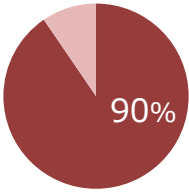
# 長友市政の実績

市民とともに歩む 夢のあるまちづくり取組成果



公約達成率 **94%**

計 150 公約中 141 項目達成 (5 期 20 年間)

第五期 (達成 97%)	公約 30 項目中 29 達成 (1 取組継続)		【取組継続 1 項目】 <ul style="list-style-type: none"><li>待機児童対策 (H31~R4 で 598 人の定員拡大) 育園待機児童数 16 人 (R4 年 4 月現在)</li></ul>
第四期 (達成 97%)	公約 30 項目中 29 達成 (1 取組継続)		【取組継続 1 項目】 <ul style="list-style-type: none"><li>待機児童対策 (2000 人以上定員拡大)</li></ul>
第三期 (達成 95%)	公約 37 項目中 35 達成 (2 取組継続)		【取組継続 2 項目】 <ul style="list-style-type: none"><li>保育園待機児童の解消</li><li>防災公園の整備推進</li></ul>
第二期 (達成 90%)	公約 32 項目中 29 達成 (3 取組継続)		【取組継続 3 項目】 <ul style="list-style-type: none"><li>保育園待機児童ゼロ</li><li>政策形成過程における女性参画推進</li><li>グリーンファンド (市民債) 導入検討</li></ul>
第一期 (達成 90%)	公約 21 項目中 19 達成 (2 未達成)		【未達成 2 項目】 <ul style="list-style-type: none"><li>女性助役</li><li>TMO 設立</li></ul>

## 第五期公約と達成状況

### 防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち

◎ 実施済	<p>1. 地域の自主防災体制づくりへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災市民組織の結成・育成支援 (H14年度 67 団体 →H26 年度 99 団体 →H29 年度 120 団体 →R3 年度 139 団体)</li> <li>● 災害時要支援者避難支援プランに基づく要援護者支援に係る協定締結 (H26 年度 9 団体 →H29 年度 28 団体 →R2 年度 35 団体)</li> </ul>
◎ 実施済	<p>2. 避難所の防災機能強化・防災備蓄品の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難所の防災機能強化 (H29 年度→R3 年度) (マンホールトイレ 17→27 校, 誰でもトイレ 18→26 校, シャワー室 15→21 校, 非常用電源設備 15→25 校)</li> <li>● 広告付避難場所等電柱看板の設置 (R2 年度 53 箇所)</li> </ul>
◎ 実施済	<p>3. 医療関係機関等と連携した緊急医療救護体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内 8 病院及び東京慈恵会医科大学附属第三病院を緊急医療救護所と定め, 災害医療を行う体制を整備</li> </ul>
◎ 実施済	<p>4. 消防団の対応能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 消防ポンプ車を 2 台更新 (毎年度)</li> <li>● 水防用資機材 (救命胴衣, 救命ボート) を R2 年度に追加配備</li> <li>● 消防団員の防火服の計画的な更新 (R4 年度から 3 か年でリニューアル予定)</li> </ul>
◎ 実施済	<p>5. 「調布市防災教育の日」の取組による防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4 月の第 4 土曜日を「調布市防災教育の日」に指定し, 全小・中学校で命の教育, 防災訓練を実施 (H24 年度～)</li> <li>● 第 8 回目となる H30 年度は過去最多の 3 万 933 人が参加 (R 元年度 3 万 870 人, R2 年度中止, R3 年度 1 万 7218 人 地域参加なし)</li> </ul>
◎ 実施済	<p>6. 地域との協働による防犯活動の推進・通学路の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 青色自主防犯パトロール団体 5 団体</li> <li>● 青色回転灯を装着した車両 2 台 (警備員 4 人) により午後 9 時 30 分から深夜帯を中心に翌朝までパトロールを実施 (R4 年度から子どもの塾帰りや帰宅時間帯の防犯対策を充実するため, 午後 5 時から深夜までに変更)</li> </ul>
◎ 実施済	<p>7. 特殊詐欺被害防止対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特殊詐欺撃退のための自動通話録音機の貸し出し (R3 年度累計 3091 台)</li> <li>● 自治会等を対象とした出前講座 (特殊詐欺被害防止対策) : R2 年度参加者 27 人</li> <li>● 被害防止教室 (防犯教室) : R3 年度参加者 15 回 334 人</li> <li>● 警察車輛・青色防犯パトロール車輛による音声広報</li> </ul>
	<p>【その他の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 街頭防犯カメラの設置 (R3 年度累計 168 台)</li> <li>● 街頭消火器の設置 (R3 年度 789 本)</li> <li>● 防災・安全情報メール (R3 年度登録者数 48,420 件)</li> <li>● R 元年台風第 19 号を踏まえた対策 (狛江市と連携した水門の遠隔操作化などの浸水対策, 調布幹線等への監視カメラ・フラップゲートの設置, 排水用可搬ポンプの配備, 止水板等設置助成等)</li> <li>● 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業により, 耐震診断, 補強設計, 耐震改修を促進 (R3 年度 耐震診断実施率 100%, 耐震化率 47.9%)</li> </ul>

## 子ども・若者を応援し子育てしやすいまち

### 8. 多様な保育ニーズへの対応強化

(待機児童対策の推進・障害児学童クラブの新設、幼稚園保護者負担軽減、保育コンシェルジュの配置など)

○  
継続中

- 保育所定員拡大数(施設整備による)  
H31年163人, R2年103人, R3年252人, R4年80人(4年計598人)  
待機児童数: H31年182人, R2年149人, R3年46人, R4年16人(速報値)  
※H14年保育施設数22箇所(定員2147人)→H30年63箇所(5593人)→R4年72箇所(6260人)★20年で50箇所4113人拡大(認可保育園の定員拡大)
- 学童クラブの整備(H14年14箇所→R4年41箇所)★20年で27箇所増設
- 障害児学童クラブ(ゆずのき学童クラブ)をR2年4月開設
- 放課後子供教室(ユーフォー)を試行的に一部施設(9施設)で開設時間を延長

### 9. 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実

◎  
実施済

- ゆりかご調布事業でオンライン相談を開始
- 産後ケア事業において従来のデイサービス(日帰り), ショートステイ(宿泊型)に加え, R4年度からアウトリーチ(訪問型)を開始
- コロナ禍による影響を受けた子どもたちの健やかな成長等を図るため, 「調布っ子応援プロジェクト」【第1弾】～【第4弾】を実施  
【第1弾】調布の子どもたちへの食と学びの支援事業(商品券を配布)  
【第2弾】給食米による食の応援事業・ひとり親家庭応援給付金支給事業(給食米, 給付金支給)  
【第3弾】子育て家庭への生活支援事業(市内商品券を配布)  
【第4弾】食と学びの支援事業(子育て応援券を配布)

### 10. 子どもの貧困連鎖の防止と若者の自立支援の充実

◎  
実施済

- 子ども・若者総合支援事業「ここあ」での支援人数は, R2年度で延べ7601人(相談事業4787人, 学習支援事業2348人, 居場所事業466人)
- 「子ども・若者支援地域ネットワーク」を設置

### 11. 小・中学校の適切な維持保全・学習環境の向上と将来的な更新計画の策定

◎  
実施済

- 児童・生徒数の増加に伴う計画的な施設整備
- 学習環境向上, 避難所機能の充実を図るため, 市立小・中学校全校の体育館へ空調を整備
- 若葉小学校・第四中学校及び図書館若葉分館施設整備検討委員会を設置し, 同施設整備基本構想を策定

### 12. 特別支援教育の推進と不登校対策の充実

◎  
実施済

- 特別支援教室の整備(小学校はH27年度に設置完了, 中学校はR元年度に設置完了)
- (中学生)不登校特例校分教室「はしうち教室」を大町スポーツ施設内に開設
- (小学生)適応指導教室「太陽の子」を大町スポーツ施設内に新設
- 不登校初期の児童・生徒の家庭への訪問支援を開始

#### 【その他の取り組み】

- 地域学校協働本部を全28校に設置完了
- 市立小・中学校におけるICT教育の推進(全校に児童・生徒1人1台タブレット配備, ICT支援員の配置, 校舎内におけるインターネット環境の整備)

## 高齢者・障害者にやさしい誰もが安心して住み続けられるまち

◎ 実施済	13. 福祉圏域ごとの地域福祉コーディネーターの配置と地域の支え合い推進 <ul style="list-style-type: none"><li>● 地域福祉コーディネーターを8つの福祉圏域全てに配置完了</li><li>● 地域福祉コーディネーターの活動件数（R3年度2万7361件）</li></ul>
◎ 実施済	14. 高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアの推進 <ul style="list-style-type: none"><li>● 8つの福祉圏域において、地域包括支援センター毎に地域福祉のネットワークを構築</li><li>● 各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員（在宅医療介護連携推進員を兼務）を配置</li></ul>
◎ 実施済	15. 認知症高齢者等への支援と介護予防・健康長寿の取組の充実 <ul style="list-style-type: none"><li>● デジタル機器を活用した高齢者健康増進事業（CDC事業）の開始</li><li>● 自宅で取り組める介護予防体操（10の筋力トレーニング）の実施</li></ul>
◎ 実施済	16. 介護サービスの基盤整備（特別養護老人ホーム・地域密着型サービス） <ul style="list-style-type: none"><li>● 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）の整備（R3年度末11施設）</li><li>● 認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）の整備（R3年度末5施設）</li></ul>
◎ 実施済	17. 医療的ケアが必要な障害児（者）への支援 <ul style="list-style-type: none"><li>● 在宅で医療的ケアを要する障害児（者）のいる家庭への支援として、訪問看護師による「在宅レスパイト事業」を実施</li><li>● 医療的ケア児等放課後等支援事業の実施（R4年度から）</li><li>● 「調布市医療的ケア児支援関係機関連絡会」を設置し、関係機関の連携を強化</li><li>● 障害児学童クラブ（ゆずのき学童クラブ）をR2年4月開設【再掲】</li></ul>
◎ 実施済	18. 障害者の自立と社会参加の推進、家族への支援の充実 <ul style="list-style-type: none"><li>● 障害者の就労支援・就労定着支援の実施</li><li>● 障害者余暇活動支援事業を推進</li><li>● 障害者の地域での自立した生活を支援するため、グループホームの開設費支援の実施</li></ul>
◎ 実施済	19. 市民の健康を守る「調布市受動喫煙防止条例（仮称）」の制定 <ul style="list-style-type: none"><li>● H31年3月に「調布市受動喫煙防止条例」を制定し、受動喫煙防止に係る啓発や条例に基づく連絡会議等を開催</li></ul>
	【その他の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"><li>● 共生社会の充実に向けた取組の推進 （パラハートちょうふの取組推進（パラアート展、障害者スポーツの振興等））</li></ul>

## にぎわいと交流のある活気に満ちたまち

◎ 実施済	20. 利便性・賑わい・うるおいを兼ね備えた駅前広場と鉄道敷地の整備 <ul style="list-style-type: none"><li>● 調布駅前広場の整備計画図を決定し、R7 年度完成に向けて整備事業を実施</li><li>● 京王線地下化に伴う鉄道敷地について、順次、用地取得を行い、整備を推進</li></ul>
◎ 実施済	21. 道路網計画に基づく安全で快適なみちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"><li>● 低騒音排水性舗装及び歩道のバリアフリー化の実施（品川通り約 350m）</li><li>● 道路照明灯 LED 化導入推進計画に基づき、街路灯灯具の LED 化を推進し、温室効果ガス排出量削減、灯具の長寿命化・電気料金の削減</li><li>● 橋りょう長寿命化推進計画、地籍整備計画を策定</li><li>● 調布 3・4・21 号線（つつじヶ丘駅南口）の用地取得・設計・工事</li><li>● 調布 3・4・26 号線（布田駅北側）の用地取得・設計・工事</li><li>● 調布 3・4・28 号線（蓮慶寺の通り）の用地取得・設計・工事</li></ul>
◎ 実施済	22. 地区計画制度を活用した地域の特性を生かしたまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"><li>● つつじヶ丘・柴崎駅周辺の抜本的な踏切対策や沿線のまちづくりを推進</li><li>● 飛田給駅西側の飛田給 1 号踏切の拡幅</li></ul>
◎ 実施済	23. 市内事業者と連携した商店街の活性化 <ul style="list-style-type: none"><li>● 商店街の街路灯に係る電気料金の補助率の上乗せによる商店会支援</li><li>● 事業所経営実態調査を踏まえた地域経済対策の実施</li></ul>
◎ 実施済	24. 「映画のまち調布」の特徴を生かした取組の推進・深大寺周辺の観光振興 <ul style="list-style-type: none"><li>● 「高校生フィルムコンテストin映画のまち調布」「映画のまち調布シネマフェスティバル」の開催</li><li>● 民間事業者や狛江市・日の出町と連携した官民一体のロケツーリズム施策を展開</li><li>● 市内での撮影実績を生かした新たなロケツーリズムコンテンツを制作（調布市を舞台に撮影された映画「花束みたいな恋をした」がロケーションジャパン大賞でグランプリを受賞）</li><li>● 調布市観光協会と連携し、古刹・深大寺を核とするイベントを実施</li></ul>
◎ 実施済	25. ラグビーワールドカップ・東京 2020 大会と連動した各種取組の推進 （スポーツ・文化、産業・観光振興、平和・国際交流、福祉のまちづくり、児童健全育成・教育） <ul style="list-style-type: none"><li>● 調布市ラグビーフットボール協会との連携により「全力で楽しむ！ラグビー観戦講座」開催</li><li>● 府中市・三鷹市と連携した「三市ラグビーフェスティバル」実施</li><li>● 東京 2020 大会に向け、東京都の補助金を活用し、基地跡地運動広場のトイレ改修工事、施設のバリアフリー化を推進</li><li>● 共生社会の重要性を発信する「パラハートちょうふ」の取組を普及啓発</li><li>● 市立小・中学校全 28 校でオリンピック・パラリンピック推進校の取組（多様なオリンピック・パラリンピアンとの交流等）</li></ul>
	【その他の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"><li>● コロナ禍における地域経済支援の取組（プレミアム商品券事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業など）</li></ul>



## 人と自然が共生するうるおいのあるまち

◎ 実施済	26. 崖線樹林地等の緑の保全 <ul style="list-style-type: none"><li>● 崖線樹林地の維持保全・活用について市民団体との協働により取り組み、公園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持保全を実施</li><li>● 深大寺元町特別緑地保全地区の緑地の公有化</li><li>● みんなの森特別緑地保全地区の保安全管理計画の策定に向けた調査実施</li></ul>
◎ 実施済	27. 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用 <ul style="list-style-type: none"><li>● 深大寺・佐須地域の里山については、東京都の「農の風景育成地区」として都内5地区目の指定を受け、東京都と連携した取組を強化し、公有地化した土地を活用した農業公園の整備に向けた取組の実施</li><li>● 市民団体やNPO法人等との協働により、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を推進</li></ul>
◎ 実施済	28. 都市農地の保全と都市農業育成対策事業による農業経営者支援 <ul style="list-style-type: none"><li>● 計画的な都市農業の振興を推進するため、調布市農業振興計画（R2～11年度）を策定</li><li>● 都市農業育成対策事業補助制度によりビニールハウス等の整備・購入費用を補助</li><li>● 東京都の都市農業活性化支援事業を活用し、農業者の経営改善への取組を支援</li><li>● 市民農園の運営（R2年12園567区画）、農業体験ファームの支援（R2年6園206区画）</li></ul>
◎ 実施済	29. 深大寺地区における街なみ環境整備事業の推進 <ul style="list-style-type: none"><li>● 深大寺地区街なみ整備基本計画及び同地区公共サイン整備計画に基づき、安全安心に回遊できる環境整備を推進し、ユニバーサルデザインに対応した案内看板を作成・設置</li></ul>
◎ 実施済	30. ごみの減量と資源化の推進 <ul style="list-style-type: none"><li>● プラスチック削減を目的とした「CHOFUプラスチック・スマートアクション」を推進</li><li>● 市民や事業者、社会福祉協議会と連携したフードバンク等の取組を推進し食品ロスを削減</li><li>● 小中学生を対象とした「ザ・リサイクル ジュニア」を創刊</li></ul>
	【その他の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"><li>● 脱炭素社会の実現に向けて2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言（R3年4月16日）</li></ul>